

不用になった製品を、リサイクルによって 新しい商品や資源に！

私たちの社会は、大量生産・大量消費型社会経済活動により物質的な豊かさを手に入れました。しかし、一方では大量の廃棄物（ごみ）が発生することになり、環境負荷の増大や資源の枯渇等地球規模での環境問題も生じています。

このことから、将来にわたり安全で質の高い生活を維持し、健全な社会活動を営むために、環境や資源の制約に対応した循環型社会を構築する一環として、さまざまなリサイクルが行われていますので、適正な処分をお願いします。

家電製品

○対象品…エアコン、テレビ（ブラウン管・液晶・プラズマ式）、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機

○処分方法…①買い換えた店や過去に購入した店（要相談）で引き取ってもらう②各自で指定引取場所へ運ぶ（㈱ケイロジ草津営業所 ☎ 568 - 3003、FAX 568 - 3008）③市役所に収集運搬を依頼（有料／事前申込要／月 1 回収集運搬日を設定）

※いずれも家電リサイクル料金が必要です（市発行の「ごみ分別名人」、市ホームページをご覧ください）。また、②③は、事前に郵便局で「家電リサイクル券」を購入してください。

※一部メーカーにより、リサイクル料金が異なることがあります。

○問い合わせ…家電リサイクル券センター ☎ 0120 - 319640、FAX 03 - 3903 - 7551、ホームページ <http://www.rkc.aeha.or.jp/>、受付時間 9:00 ~ 17:00（日曜日、祝日を除く）

パソコン

○製造した各メーカーが回収を行っています。

○パソコンリサイクル開始以前に購入されたパソコンは、「回収再資源化料金」のご負担が必要です。

○回収するメーカーがないパソコン（自作のパソコン、倒産・事業撤退したメーカーのパソコンなど）は、一般社団法人パソコン 3R 推進協会が有償で回収します。

○問い合わせ…購入店、各メーカー、一般社団法人パソコン 3R 推進協会 ☎ 03 - 5282 - 7820、FAX 03 - 3233 - 6091、ホームページ <http://www.pc3r.jp>

バイク

○処分方法…①指定引取窓口へ直接持ち込み（㈱ケイロジ草津営業所 ☎ 568 - 3003、FAX 568 - 3008）②廃棄二輪車取扱店へ持ち込み（別途、収集・運搬料金を要）

○リサイクル料金…リサイクルマークが貼付されている車両は無料、それ以外の車両は有料

○問い合わせ…二輪車リサイクルコールセンター ☎ 03 - 3598 - 8075、自動車リサイクル促進センターホームページ <http://www.jarc.or.jp/motorcycle/>

消火器

○処分方法…①市内のリサイクル申し込み窓口（㈸しがエレクトック ☎ 586 - 1162、FAX 586 - 7762）②郵送での回収（事前申し込み要）※申込先／ゆうパック専用コールセンター ☎ 0120 - 822 - 306、ホームページ <http://www.ferecycle.jp>

○リサイクル料金…リサイクルシール代、運送・保管費用

※買い替えの場合、販売店が引き取る場合があります。

○問い合わせ…㈸日本消火器工業会（消火器リサイクル推進センター）☎ 03 - 5829 - 6773、FAX 03 - 5829 - 6774、ホームページ <http://www.ferpc.jp/>

携帯電話・PHS

○使用済みの携帯電話・PHS の本体、電池、充電器を、各メーカーや通信サービス提供事業者を問わず下記のマークのある約 8,700 店の携帯電話販売店を中心とした店舗で無償回収しています。

○問い合わせ…㈸電気通信事業者協会 ☎ 03 - 3502 - 0991、FAX 03 - 3502 - 0992、ホームページ <http://www.mobile-recycle.net/>



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHS のリサイクルにご協力を。



◆環境課

☎ 587 - 6003
FAX 587 - 3834

毎月第 4 土曜は 廃食油回収の日

2 月 26 日(土) 午前 10 時～午後 1 時

回収会場：市役所別館（旧コミセンやす）横
電話ボックス付近

回収物：廃食油、牛乳パック、アルミ缶

問環境課 ☎ 587 - 6003、エコロジーマー
ケットやすの会・増村 ☎ 586 - 1441

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(77)

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

【2月の休館日】月曜・火曜日

◆テーマ展「土人形」／2月5日(土)～3月6日(日) 館蔵資料より節句に飾られたさまざまな土人形を紹介

※展示解説2月6日(日)午後2時～

◆ハートのまが玉作り「弥生の森体験工房」土曜・日曜日、祝日（予約不要・10人以上は要予約）、所要時間約60分・500円～

◆どうたく体操発表会／2月13日(日)午前10時30分～正午

主催…野洲市観光物産協会



中主小学校旧校舎（昭和37年、50周年記念誌から）

衛生室（左）・貴賓室（右）・応接室・職員室・標本及図書室・昇降口・階段、二階には4つの教室と階段がありま

す。玄関ポーチ上に窓があり、その上に校章を配置しています。軸組

中里村の勢いと、多くの人々の思い出のこめられた建物のことも忘れないでおきたいものです。

なお、図面は3月12日(土)21日(祝)に特別展示の予定です。（博物館学芸員 古川与志継）

図を見ると筋交いが各所に入られていたことがわかります。外壁は「セメントスタッコ」、天井は「テックス」などの記載が認められます。校長室に残されている大きな棟札から、第二期工事の上棟は1935（昭和10）年9月21日、この時の校長は山本庄作、中里村長は中野佐七、工事受入人は荒川栄太郎・遠藤亀之助であったことがわかります。

ヴォーリス建築だった 中主小学校旧校舎

各地に残っている、ウィリアム・メレル・ヴォーリスによって創設されたヴォーリス建築事務所の設計になる建物、近代建築として注目されています。戦前は近江八幡を根拠地にして活動し、県内に数多く残っています。

ヴォーリスはアメリカ合衆国に生まれ、1905（明治38）年県立商業学校（現県立八幡商業高等学校）の英語教師として来日しましたが、熱心なキリスト教伝道活動のため解任されています。その後

は、伝道活動を進めるとともに、建築事務所の開設やメンソレータムなどの事業を推進し、青い目の近江商人、実業家として知られています。

建築事務所は戦時中に活動を中止せざるを得ませんでした。が、市内では近江野田教会（1927年）が、ヴォーリスの伝道活動と関係して建設され現存しています。そして、1985（昭和60）年に解体された中主小学校旧校舎もヴォーリス建築でした。1989（平成元）年3月、

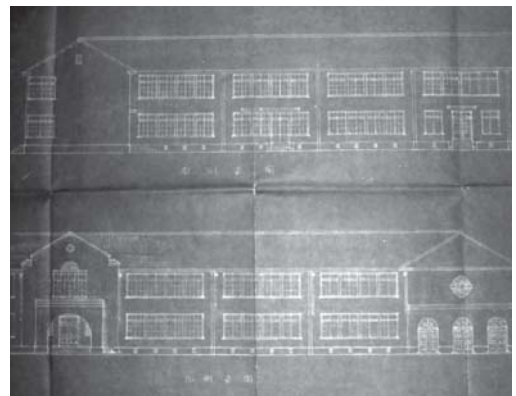
中主町教育委員会発行の『わたしたちの中主』に、「ヴォーリス氏設計による木造校舎完成（一九三五）」と記載されており、卒業生には周知のことと思います。この建物は、中主小学校の前身となる中里村立の学校で、ヴォーリス建築事務所による「中里村立中里尋常・高等小学校々舎新築設計図」が残っていて、この図面や写真からその様子をを知ることが出来ます。

図面は重複して残っているものを除くと24面、1934年と1935年の年号が記されたものがあり、第二期工事の分は1935年です。記載された数字は尺で表記されて

おり、第一期工事は正面玄関より東側の棟で、第二期工事は正面玄関とその北側の棟です。

図面はそれぞれ、一階二階の平面図、建図あるいは姿図（側面図）、縦断面図、矩形図、二階床伏図・小屋伏図、基礎伏及一階床伏図、軸組建図、各室扉詳細図があり、さらに、正面玄関、窓の図面、黒板見取図もあります。

第一期工事部分の一階には生徒昇降口・二階への階段・3つの教室、階段の下には掃除具押入、二階には一階からの階段と4つの教室が配置されています。第二期工事部分の一階には、ポーチ・広間・



第二期工事図面（姿図）